

コロナや授業であきらめかけていた体験・見学が実現しました

参加のきっかけ：

ふるさと岩手県で自分の専門分野である電気を生かした就職を考えていました。ただそれは公務員でも民間企業でも可能なことなので、どちらにするか決めかねていました。そんなとき、家族からジョブカフェいわての情報を聞き、いわてUターンサポートデスクに登録しました。何度かweb相談をして、インターンシップ先を調整し、帰省の際に参加できました。

参加してみて：

公務員のインターンシップは岩手県企業局でした。企業局はダムや発電所、工業用水の管理などをする岩手県の部局です。浄水場の現場ではポンプの開閉にかなりの力が必要でした。「点検」と聞き、簡単なチェックだろうとイメージしていた自分の甘さに気がきました。ベテラン職員の方から「発電所がつくられた経緯」を岩手県の歴史とともに聞き、仕事の奥深さを知りました。それまでは「どんな資格が必要か」など仕事を点でとらえていましたが、線や面でとらえることの大切さを教わりました。

民間企業の東日本機電開発は、全国に通じる技術力を持っていることを職場見学を通じて初めて知りました。この会社の事業は岩手県民の生活を支えるもので、その点では公務員も民間も垣根はないと感じました。専門の技術力が高い民間と公務員が協働することがいい仕事につながるという発見もありました。

これからの学生にアドバイスは：

3年の夏休みに1週間以上のインターンシップを計画していました。でもコロナ禍で対面型が難しくなり、授業が後ろ倒しとなって参加をあきらめていました。そんなころ、いわてUターンサポートデスクから岩手県企業局の情報や1日の職場見学ならできるという民間企業の情報をいただき、両社で体験や見学の機会をいただきました。どんな状況でもあきらめずに頑張れば道は開けると思いました。

サポートデスク スタッフから

阿部さんをご家族から勧められ、いわてUターンサポートデスクに登録しました。コロナ禍で対面型のインターンシップの参加が難しい状況に加え、夏休みにも授業があるなど厳しい環境でしたが、継続して活動を続け、公務員と民間企業の両方で就業体験をすることができました。それぞれの事業所で学んだことも多く、官民の協働まで考えられたのは貴重な体験だったと思います。体験をもとにさらに企業研究を深め、充実した就活にしてほしいと願っています。

体験したのは！

阿部 龍太郎さん

(奥州市出身)

千葉工業大学工学部 電気電子工学科

大学では電気・電子回路、送配電、制御工学など基礎を学んでいて、現在はセンサエレクトロニクス研究室に所属しています。これまで学校では実行委員今後研究室に所属し、専門的な研究に入り長や生徒会長などを経験し、人一倍責任感は強いと思っています。

実施プログラム！

公務員の仕事を理解する3日間

実習先：岩手県企業局（公務）

所在地：盛岡市内丸11-1

事業内容：水力、風力、太陽光など再生可能エネルギーの発電による電気事業と工業用水を提供する工業用水道事業

実施プログラムの主な内容（3日間）

- ・企業局の概要説明
- ・岩洞ダム、湯田ダムの見学
- ・岩洞第一、北ノ又、仙人の各発電所の見学
- ・県内施設管理所、施設総合管理所の見学

民間企業の職場を見学

実習先：東日本機電開発株式会社（製造業）

所在地：盛岡市手代森5-19-10

事業内容：上下水道プラントや農林漁業向けの制御盤、監視盤などの設計、製造、販売。イチゴ閉鎖型高設栽培システムの施工と販売

実施プログラムの主な内容（1日間）

- ・会社の概要説明
- ・工場見学
- ・若手社員との座談会